

ニッセイ インターネットアンケート ～セカンドライフについて～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ニッセイホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、セカンドライフ※に関するアンケート調査を実施しました。 ※「セカンドライフ」は「退職後の生活」という意味を表します

《アンケート概要》

- 実施期間：2022年8月1日(月)～8月14日(日)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：10,956名(男性:5,546名、女性:5,263名、その他・未回答:147名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	330	710	1,060	1,744	1,157	545	5,546
女性	488	851	1,003	1,518	905	498	5,263
合計	818	1,561	2,063	3,262	2,062	1,043	
占率	7.5%	14.2%	18.8%	29.8%	18.8%	9.5%	

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～3

【定年後のプランについて】

- 全体の **59.2%**の方が「定年後も仕事を続けたい」と回答した。
- 年代が高い方ほど、「同じ会社で仕事を続けたい」と回答した割合が高かった。
- 「異業種の仕事をしたい」と回答した方は全体の **13.6%**であった。
- 全体の **73.4%**の方が「**65歳以降も働きたい**」と回答し、**36.0%**の方が「**70歳以降も働きたい**」と回答した。

ポイント②

質問 4～6

【セカンドライフに対する不安について】

- 全体の **70.6%**の方が「セカンドライフに**不安がある**」と回答した。また、定年に近い年代ほど「**不安がある**」と回答した方の割合が高かった。
- 昨年度に引き続き、「自分の健康・病気」「家族の健康・病気」「生活費や医療費」など、**健康面や金銭面に不安を感じている方が多かった**。

ポイント③

質問 7～11

【セカンドライフのお金について】

- 55.0%**の方が、定年後の収入に「**満足していない**」と回答した。
- 全体で **60.8%**の方が、ご自身の退職金や年金(公的年金および企業年金等)の金額を把握していなかった。
- セカンドライフに貯めておきたい金額の平均は **3,807万円**で、昨年度より **185万円増加**した。
- セカンドライフのための資金について、**20代以下で83.0%、30代で86.2%**が準備を始めていた。

質問1 【定年を迎えていない方への質問】 定年後のプランはどのようにお考えですか？

(回答者数：6,903名)

質問2 【定年を既に迎えている方への質問】 定年を迎えた後の仕事について教えてください

(回答者数：1,712名)

- 全体の59.2%の方が定年後も「仕事を続けたい」と回答した。
- 年代が高い方ほど、「同じ会社で仕事を続けたい」と回答した割合が高かった。
- 一方で20代以下の方は、「仕事ではなく違うことをしたい」と回答した割合が最も高かった。
- 「異業種の仕事をしたい」と回答した方は13.6%であった。
- 定年を迎えている方で、定年後も仕事を続けた方は52.5%であった。

■定年後のプラン（定年を迎えていない方）＜年代別＞

(%)

	同じ会社で 仕事を続けたい	別の会社で 同業種の仕事をしたい	異業種の仕事をしたい	仕事ではなく 違うことをしたい
～20代	27.5	6.8	13.2	52.5
30代	32.0	8.3	13.4	46.3
40代	36.9	6.3	15.5	41.4
50代	44.1	7.1	13.7	35.2
60代	48.2	4.5	7.3	40.0
70代～	52.2	2.2	4.3	41.3
全体	38.7	6.9	13.6	40.8

全体の59.2%の方が定年後も仕事を続けたいと回答

■定年を迎えた後の仕事（定年を既に迎えている方）

(%)

	定年前の会社で 仕事を続けた(続けている)	別の会社で 同業種の仕事に就いた	異業種の仕事に就いた	その他
全体	30.7	7.7	14.1	47.5

定年後も仕事を続けた方は52.5%

質問3 【定年後も働きたい・定年後も働いている方への質問】

何歳まで働きたいと思いますか？ (回答者数：5,101名)

- 全体で「65～69歳」まで働きたいと回答した方が37.4%と最も多かった。
- 全体の73.4%の方が65歳以降も働きたいと回答し、36.0%の方が70歳以降も働きたいと回答した。

■何歳まで働きたいか

(%)

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
60～64歳	26.7	40.8	30.9	23.8	30.6	19.9	—
65～69歳	37.4	34.9	36.9	36.2	38.7	43.0	—
70～74歳	22.7	17.8	19.7	24.5	19.8	25.8	38.0
75～80歳	7.0	3.8	6.5	8.1	5.7	5.9	21.7
80歳以上	6.3	2.7	6.0	7.3	5.1	5.4	19.9

質問 4 【定年を迎えていない方への質問】

セカンドライフでやってみたいことはなんですか？（回答者数：5,101名）※複数回答可

- 昨年度に引き続き、全体で「国内旅行」、「海外旅行」と回答した方の割合が高かった。
○次いで「新しい趣味」と回答した方の割合が高かった。

■セカンドライフでやってみたいこと

(%)

	全体	男性	女性
国内旅行	61.0	60.9	61.4
海外旅行	34.2	31.5	37.6
新しい趣味	32.6	29.4	36.4
スポーツ	15.4	18.3	12.4
資産運用	14.3	17.5	10.8
地域貢献・ボランティア活動	12.2	12.5	12.0
勉強・資格取得	9.1	9.3	9.0
田舎へ移住	8.5	9.7	7.3
仕事	6.6	6.8	6.5
海外へ移住	5.1	4.7	5.5
起業	3.4	3.5	3.2
恋愛	1.8	2.0	1.6
都会へ移住	1.7	1.5	1.9
その他	8.8	8.7	8.6

■昨年度（参考）

(%)

	全体	男性	女性
国内旅行	63.6	62.0	65.4
海外旅行	35.0	31.5	39.1
新しい趣味	-	-	-
スポーツ	15.2	16.7	13.4
資産運用	14.1	16.8	10.9
地域貢献・ボランティア活動	12.5	12.1	13.0
勉強・資格取得	9.9	9.1	11.0
田舎へ移住	7.6	9.0	6.0
仕事	6.5	6.5	6.5
海外へ移住	3.9	3.8	4.0
起業	-	-	-
恋愛	2.0	2.3	1.6
都会へ移住	1.3	1.2	1.5
その他	15.9	16.1	15.7

昨年度に引き続き、「国内旅行」「海外旅行」と回答した方の割合が高く、次いで「新しい趣味」と回答した方が多かった。

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上智紀のコメント>



既に70代前半の男性では3人に1人が何らかの形で働いていますが、定年後も仕事を継続されている方や継続を希望されている方のうち、3分の1が70歳以降も働き続けることを望まれていることから、高齢層の労働市場への参加は今後もますます進んでいくものと思われます。ただし、年代が高いほど定年後も同じ会社での仕事の継続を希望していることは、慣れ親しんだ職場や職務内容を変えたくないという、現状維持バイアスが強く働いている可能性もありそうです。

一方、セカンドライフにやってみたいこととして、今回選択肢として追加した「新しい趣味」が「国内旅行・海外旅行」に次いで多くなっていたことは、コロナ禍の行動制限を経験してきたことで、今後も同様の事態に遭遇する可能性を見据えて、旅行以外の楽しみも持っておこうと考えている可能性もあるのではないのでしょうか。

質問5 ご自身のセカンドライフで不安に感じていることはありますか？（回答者数：6,783名）

質問6 【質問5で「ある」と回答した方への質問】

セカンドライフで不安に感じていることは何ですか？（回答者数：6,510名）※複数回答可

- 全体の70.6%の方が「セカンドライフに不安がある」と回答した。
- 定年に近い年代ほど、「不安がある」と回答した方の割合が高かった。
- 昨年度に引き続き、「自分の健康・病気」「生活費や医療費」「家族の健康・病気」など健康面や金銭面に不安を感じている方が多かった。
- 「生活費や医療費」に不安を感じていると回答した方は、昨年度より6.6ポイント増加した。

■不安があるか

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
ある	70.6	55.6	66.2	74.1	75.7	63.6	43.1
ない	29.4	44.4	33.8	25.9	24.3	36.4	56.9

定年に近い年代ほど定年後の不安があると回答した割合が高い

■不安に感じていること

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	■昨年度
自分の健康・病気	72.3	58.5	67.3	72.7	74.5	75.6	73.7	74.4
生活費や医療費	54.4	54.2	61.5	61.2	59.0	43.5	29.2	47.8
家族の健康・病気	44.2	30.5	43.9	43.9	45.5	47.0	43.4	45.7
公的年金制度	31.4	34.8	38.4	33.6	33.9	24.8	15.0	25.9
親の介護	29.8	28.2	35.4	36.8	34.1	20.9	4.2	28.6
社会情勢・経済情勢の悪化	25.6	24.4	27.7	24.6	26.9	25.2	20.2	21.9
配偶者の介護	13.1	9.0	15.1	14.5	13.1	12.0	11.5	12.0
子・孫の面倒	8.6	6.3	11.1	10.6	8.2	7.0	6.1	6.5
その他	2.7	1.6	2.6	2.2	2.9	2.9	3.5	4.8

健康面や金銭面に不安を感じている方の割合が高い

質問7 【定年後も仕事を続けている方への質問】

定年後の収入に満足していますか？（回答者数：658名）

- 全体で55.0%の方が、定年後の収入に「満足していない」と回答した。
- 「満足していない」と回答した方の割合は、定年後も同じ会社で仕事を続けた方が最も高かった。

■定年後の収入に満足しているか

	(%)	
	満足している	満足していない
同じ会社での仕事	42.4	57.6
別会社で同業種の仕事	52.1	47.9
異業種の仕事	47.1	52.9
全体	45.0	55.0

定年後も同じ会社で仕事を
続けている方は、
定年後の収入に満足していない
割合が高い

質問8 【企業・団体にお勤めの方への質問】

定年まで勤めた場合のご自身の退職金や年金（公的年金および企業年金）の金額を把握していますか？（年代別回答者数：6,246名）（従業員規模別回答者数：5,835名）

- 全体で60%以上の方が、「把握していない」と回答した。
- 年代が低い方ほど、「把握していない」と回答した割合が高かった。
- 従業員規模が小さい会社にお勤めの方ほど、「把握していない」と回答した割合が高かった。

■把握している割合<年代別>

	(%)	
	把握している	把握していない
～20代	17.9	82.1
30代	25.7	74.3
40代	32.3	67.7
50代	50.9	49.1
60代	63.5	36.5
70代～	72.2	27.8
全体	39.2	60.8

■把握している割合<従業員規模別>

	(%)	
	把握している	把握していない
100人未満	34.6	65.4
100～1,000人未満	36.9	63.1
1,000～5,000人未満	42.8	57.2
5,000～10,000人未満	45.7	54.3
10,000人以上	48.7	51.3
全体	39.5	60.5

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上智紀のコメント>



同じ会社で仕事を続けている方を中心に、定年後の収入に満足していない人が過半を占めていることは、定年後の再雇用により給与水準が下がったことで、定年前の職務内容、待遇とのギャップが不満を生んでいるものと考えられます。

退職金や年金について従業員規模により把握している割合が異なることは、規模が大きい企業ほど制度そのものや周知する体制の整備が進んでいることが影響しているのではないのでしょうか。

質問9 セカンドライフをスタートするまでに、貯めておきたい金額はいくらですか？

(回答者数：6,664名)

質問10 質問9の金額に対して、現時点でどれくらい達成できていますか？

(回答者数：6,601名)

○貯めておきたい金額は、全年代で「1,000～3,000万円未満」と回答した方が最も多かった。
 ○貯めておきたい金額の平均は全体で3,807万円で、昨年度と比較し全年代で増加した。
 ○20代以下の83.0%、30代の86.2%が、セカンドライフの資金について準備を始めていた。
 ○50代の38.5%、60代以上の53.5%が、目標額の半分を達成している。

■貯めておきたい金額

	(%)					
	全体	～20代	30代	40代	50代	60代～
500万円未満	9.2	10.5	7.1	8.7	9.6	12.7
500～1,000万円未満	14.1	13.6	15.1	15.0	13.2	13.5
1,000～3,000万円未満	39.1	44.5	43.1	39.8	36.7	32.5
3,000～5,000万円未満	20.0	18.7	20.8	19.7	20.4	19.2
5,000万円以上	17.6	12.8	14.0	16.9	20.1	22.2
平均金額 (万円)	3,807	3,212	3,432	3,719	4,107	4,271
	+185	+280	+88	+248	+289	+477
昨年度平均金額 (万円)	3,622	2,932	3,344	3,471	3,818	3,794
	+589					
一昨年度平均金額 (万円)	3,033	2,565	2,922	2,919	3,067	3,334

■どれくらい達成できているか

	(%)					
	全体	～20代	30代	40代	50代	60代～
まだ準備していない	12.0	16.9	13.9	13.3	9.9	7.9
10%未満	22.8	47.4	32.7	23.8	14.2	8.5
10～30%未満	23.2	27.3	32.5	26.5	17.5	12.5
30～50%未満	16.1	5.2	12.7	16.4	19.7	17.6
50～80%未満	17.4	2.3	5.9	15.2	26.0	28.3
80～100%未満	4.3	0.3	1.1	2.2	6.5	13.1
100%	4.2	0.5	1.3	2.6	6.0	12.1

20代以下・30代の8割以上がセカンドライフの資金について準備を始めている

50代の38.5%、60代以上の53.5%が、目標額の半分を達成している

質問 11 セカンドライフの資金を確保するためにどのようなことを行っていますか？

(回答者数：9,191名) ※複数回答可

- 全体で「銀行預金・貯金」と回答した方の割合が最も高く、次いで「個人年金保険」と回答した方の割合が高かった。
○20代以下・30代の方は、「NISA・つみたてNISA」が「個人年金保険」に次いで多かった。

(%)

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代～
銀行預金・貯金	62.0	58.8	59.1	62.5	63.6	65.1
個人年金保険	37.2	38.5	42.6	42.6	39.9	31.1
株式・債券投資	23.3	10.5	20.2	22.8	24.6	28.8
NISA・つみたてNISA	19.3	17.7	23.8	21.3	20.4	16.3
投資信託	17.8	8.6	16.4	18.2	19.5	21.2
退職金（退職一時金や企業年金など）	15.2	6.9	13.4	15.1	19.2	15.8
iDeCo（個人型確定拠出年金）	11.1	7.7	11.4	15.8	15.5	4.1
財形貯蓄	8.5	8.6	8.1	10.8	12.1	3.2
国民年金基金	4.7	4.6	5.2	4.9	4.6	4.3
不動産投資	2.6	1.9	2.9	2.6	2.6	2.7
FX	1.5	1.3	1.6	2.3	1.4	0.9
仮想通貨	1.4	1.5	2.5	2.0	1.3	0.5
その他	3.2	2.5	2.7	3.1	3.9	2.8
特に何もしていない	16.7	17.7	15.6	15.3	14.6	16.6

■ 都道府県別ランキング（銀行預金・貯金、個人年金保険、株式・債券投資、NISA・つみたてNISA）

順位	銀行預金・貯金		順位	個人年金保険		順位	株式・債券投資		順位	NISA・つみたてNISA	
1	大分県	77.4	1	島根県	47.4	1	奈良県	30.3	1	福井県	25.0
2	宮崎県	72.0	2	岐阜県	46.5	2	東京都	29.4	2	広島県	24.5
3	三重県	70.6	3	和歌山県	44.4	3	山口県	29.3	3	東京都	24.4
4	山梨県	69.0	4	愛媛県	44.1	4	神奈川県	29.2	4	山形県	24.0
5	新潟県	68.2	5	長崎県	43.1	5	三重県	26.8	5	奈良県	23.8

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上智紀のコメント>



セカンドライフに向けての目標額は、物価の上昇や将来の公的年金の給付額への不安から年々増加しているものの、多くの方は1,000～3,000万円未満を想定しているようです。

セカンドライフに向けた資金準備については、年代を問わず8割以上が行っているものの、50～60代のシニア層のうち約半数は目標額に対して50%未満の達成度合いであることから、今後はより積極的な取り組みが必要になってくるものと思われます。

資金準備の手段について、20～30代では個人年金保険に次いでNISA・つみたてNISAが多くなっています。これは、コロナ禍でできた時間的余裕やポイント投資など開始にあたってのハードルが下がっていることが影響しているものと思われます。NISA・つみたてNISAについては、2024年の制度改正が予定されており、非課税投資枠も拡大されることから、今後も利用が拡大していくのではないのでしょうか。

以上